

各 位

会 社 名 M e d i c i N o v a , I n c

代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一

(コード番号: 4875 東証スタンダード)

(ティッカーシンボル: MNOV NASDAQ グローバル)

問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子  
兼最高医学責任者 (CMO)

電話: 03-3519-5010

E-Mail: infojapan@medicinova.com

## 2025年12月期決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ

2026年2月20日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます。) は、本日、2025年12月期決算短信の開示を行いましたが、当該開示が決算期末後50日を超えた理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 決算短信の開示が期末後50日を超えた理由

当社が本拠を構える米国におきましては、新たな規制やグローバルなリスクの増大、テクノロジーの進化等により、財務諸表に対する会計監査がかつてないほど複雑化・厳格化しております。

当社が作成・公表する財務諸表に対する会計監査も例外ではなく、様々な根拠資料の提示や複数の検証テストが実施され、決算数値が定まるまでに相当な時間を要することとなりましたことから、2025年12月期決算短信の開示が期末後50日を超えることとなりました。

#### 2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算短信の開示が遅延したことを厳粛に受け止め、再発防止に努めてまいります。今後の決算開示時期につきましては、更なる体制整備を進めるとともに、監査法人との事前確認を実施するなどコミュニケーションの活性化を図り、決算期末後45日以内に開示できるよう、適切な情報開示に取り組んでまいります。

以 上

### メディシノバについて

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、米国を拠点とする臨床開発ステージにあるバイオ医薬品開発企業です。炎症性疾患、神経変性疾患、癌などの様々な疾患領域において、開発後期ステージの広範なパイプラインを開発しています。

主要な開発品である2つの化合物、MN-166 (イブジラスト) と MN-001 (タイペルカスト) は複数の作用機序を持つ低分子化合物です。動物モデルスタディで様々な効果が確認されているほか、これまでの臨床経験において高い安全性プロファイルを有しています。

MN-166（イブジラスト）は、現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、変性脊椎頸椎症（DCM）で臨床第Ⅲ相（フェーズ3）段階の治験が進められています。他にも膠芽腫（グリオblastoma）及び嗜好品依存症の治療薬候補品として臨床第Ⅱ相（フェーズ2）段階にあります。

MN-001（タイペルカスト）は、糖尿病による脂質異常症・非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）を対象に、臨床第Ⅱ相（フェーズ2）段階の治験が進められています。

当社は、欧米政府や公的機関からの研究資金助成を受け、多くの医師主導型臨床治験を実施してきた強固な実績を有しています。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/>をご覧下さい。本社所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート300、エグゼクティブ・スクエア4275（電話 1-858-373-1500）です。

## 注意事項

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221及びMN-029の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、またはMN-029を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した2025年12月期のForm10K及びその後の10Q、8Kなど届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。